

あくね 市議会だより

第2回定例会



放射性廃棄物持込み拒否条例を否決……………	2
旧国民宿舎周辺開発 香港系企業と……………	3
有害鳥獣捕獲補助 468万円返還……………	3
各議員が市政を問う（一般質問）……………	7



二次元コード

左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると市議会のホームページにリンクします。

阿久根市議会

検索

海・山の小学生が交流

西目小と尾崎小の児童が地引網体験とヒラメの放流を行いました。（高之口港）

平成30年8月15日発行（No.198）



阿久根市議会

議員提案

放射性廃棄物

持ち込み拒否 条例制定を 否決

6月
定例会



原子力発電所からの核のゴミの行方は
(写真は川内原子力発電所)

乳幼児医療費(非課税世帯) 窓口無償化
子ども発達支援センター 指定管理者制度へ

条例

3月議会で議員提案され、継続審査となっていた放射性廃棄物の持ち込みを拒否する条例制定を反対9、賛成6で否決しました。

本会議での反対理由は「国の政策で、国が取り組むべき問題」「条例制定は時期尚早」など。賛成理由として「自治体の姿勢を国に示すべき」「市内には好ましくない地域も含まれる」などが討論されました。

総務文教委員会は可決すべきものと決しており、本会議では委員会決議と異なる結果となりました。

また現在、病院等で一旦支払った後、本人口座に振り込まれている、非課税世帯の乳幼児医療費を窓口無償化するための条例や、子ども発達支援センター(こじか)に指

定管理者制度を導入する条例等を可決しました。

予算

補正予算371万円追加
122億7371万円へ

鶴川内中学校での人権教育開発事業、一般コミュニティ助成事業として公民館備品購入等371万円の補正予算を可決、今年度一般会計予算総額は122億7371万円となりました。

また国民健康保険特別会計の補正として電算システム改修負担金47万円余を可決しました。

陳情

教職員の定数改善などを求める陳情を趣旨採択。3定例会続けて提出された土地の購入を求める陳情は不採択としました。

行政・議会の基礎知識

補正予算とは、経費の不足を補うほか、予算作成後に生じた事由に基づき、増減・変更を行うための予算。

陳情とは、一定の事項に利害関係を持つ人が実情を訴え、適切な対応を求めて自治体に要望を行うもの。請願と異なり議員の紹介を必要としない。

指定管理者制度とは、公の施設の管理、運営を民間会社等の法人や団体に委託する制度。民間のノウハウを導入することで効率化を目指す。1年更新の委託と異なり複数年契約で、事業者は運営・雇用等に長期で取り組める。

市民関心は...
2事業は...

旧国民宿舎 周辺開発 構想を香港系企業と

市長は旧国民宿舎跡地について昨年9月以来進めてきた**公募の手續きに基づく選定を取りやめ**、旧国民宿舎跡地を含む一帯での観光施設開発を進める考えを示しました。具体的には**香港系企業 H K R 社と、観光振興施**

策を共同で取り組む趣旨の協定を8月末までに結び、今後20〜30年にわたり、市の地域振興を同社と共同で取り組む意向を表明しました。公募には、同条件に基づく提案をした、市内25法人・個人の出資により

設立された会社と、公募条件には基づいていない H K R 社が応募していました。市長は H K R 社について「より明るい展望と将来性のある事業構想を示した」と評価しています。



旧国民宿舎（旧グランビューあくね）を含み、番所丘、倉津、佐潟地区を望む

鳥獣捕獲補助金

468万円返還

3月定例会で本年度予算に対する附帯決議がなされた、有害鳥獣捕獲に係る補助金に関し、市から調査報告が行われまし

た。調査の結果、**解体処理頭数の不整合な報告、活動出勤日数の過大請求**などにより、**468万9500円を不正に受給していた**ことが確認されたため、市は申請者の一般社団法人いから阿久根、

阿久根市有害鳥獣捕獲協会などに返還を求め、5月までに**全額返還**を受けました。

市は、再発防止のため、捕獲個体確認の徹底、補助金の支払いを団体から個人に変更するなどの対策を講じ、市職員の指導も徹底することになっています。議会も補助金の適正な執行を注視してまいります。



市の調査報告書（平成30年6月）

予算委員長報告

牟田 学委員長

30年度一般会計補正予算を審査した結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

主な質疑・答弁

問 生活困窮者自立支援法の改正に伴うシステム改修について、100万円もかけてやる必要があるのか。

答 保護世帯のデータは、システムに入力しており、そちらで管理している関係で改修が必要である。

問 人権教育開発事業について、市内の中で鶴川内中学校だけでやるのか。ほかの中学校は対象にしないのか。

答 国の補助を受け、鶴川内中学校1校で実施する事業である。

問 財政調整基金の繰入金は、必要に応じて入れられるということであるか。

答 財政調整基金は、ど

の自治体も設けることが法律で決まっている基金である。各自治体の歳入及び歳出の予算を組む中で、歳入不足に備えて持っているものである。現在の基金残高は4億5522万円である。

産業厚生委員長報告

仮屋園一徳委員長

子ども発達支援センターの設置等に関する条例の改正について審査した結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

主な改正点

子ども発達支援センターの管理運営について、31年4月から指定管理者制度に移行することに伴い、必要な改正を行うもの。

主な質疑・答弁

問 改正の主な理由は。

答 複数年の指定管理を行うことで人材の確保や育成が行われ、療育が必要な子どもに長期的な支援が可能になる。



指定管理者制度に移行する子ども発達支援センターこじか

子ども医療費の助成条例の改正について審査した結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

主な改正点

県が市民税非課税世帯の就学前（6歳に達する日以後の最初の3月31日まで）の子ども医療費窓口無償化を平成30年10月から開始するのにあわせ、市も同時期に当該制度の導入を行うもの。

主な質疑・答弁

問 ひとり親世帯は全て対象になるのか。

答 ひとり親世帯も非課税世帯のみ対象になる。

指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する条例の改正について審査した結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

医療ニーズの高い利用者へのサービス供給量を増やす観点から、参入できる事業者の基準緩和を行ったもの。

主な改正点

大川診療所は対象になるか。

答 無床診療所のため、対象とならない。

総務文教委員長報告

大田重男委員長

放射性廃棄物の持ち込み拒否に関する条例について審査した結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

※本会議では賛成少数で否決されました。

主な質疑・答弁

問 廃棄物の持ち込み等の拒否について、市として協議したことはあるか。

答 科学的特性マップの公表後、市長・副市長と協議し、市としては受け入れる意思がないことを確認している。

土地の購入に関する陳情書（旧国民宿舎付近の山林）について審査した結果、全委員一致で不採択とすべきものと決しました。

※この陳情書は、過去2回とも不採択です。

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元、複式学級解消をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請について審査した結果、賛成多数で趣旨採択とすべきものと決しました。



複式学級の授業風景

平成30年第2回定例会 議案及び審議結果

番号	内容	結果
報告第1号	専決処分の承認について（阿久根市税条例の一部を改正する条例）	承認（全員）
報告第2号	専決処分の承認について（阿久根市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認（全員）
報告第3号	専決処分の承認について（平成29年度阿久根市一般会計補正予算（第7号））	承認（全員）
報告第4号	専決処分の承認について（平成29年度阿久根市国民健康保険特別会計補正予算（第6号））	承認（全員）
報告第5号	専決処分の承認について（平成29年度阿久根市交通災害共済特別会計補正予算（第2号））	承認（全員）
報告第6号	専決処分の承認について（平成29年度阿久根市介護保険特別会計補正予算（第5号））	承認（全員）
議案第30号	放射性廃棄物の持ち込み拒否に関する条例の制定について	否決（少数）
議案第32号	固定資産評価員の選任について	同意（全員）
議案第33号	阿久根市子ども発達支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決（全員）
議案第34号	阿久根市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決（全員）
議案第35号	阿久根市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決（全員）
議案第36号	平成30年度阿久根市一般会計補正予算（第1号）	可決（多数）
議案第37号	平成30年度阿久根市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
陳情第2号	土地の購入に関する陳情書	不採択（全員）
陳情第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請について	趣旨採択（全員）

※多数 - 賛成多数、少数 - 賛成少数

議決結果（賛否が分かれた案件について）

議案等番号	議員名（議席番号順）														討論数			
	白石純一	渡辺久治	濱田洋一	西田数市	竹原信一	仮屋園一徳	竹原恵美	中面幸人	大田重男	濱崎國治	牟田学	岩崎健二	濱之上大成	山田勝			野畑直	木下孝行
議案第30号	◇	◇	◆	◇	◇	◆	◇	◇	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	—	反対：1	賛成：2
議案第36号	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	反対：1	賛成：—

【表の見方】 ◇は賛成、◆は反対

○木下孝行議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。



それぞれのスマートフォンでアプリを起動し（右写真）、二次元コードを読み取る（左写真）とインターネットのページにアクセスできます。

iPhone



Android



二次元コードでのアクセスの仕方

そうだ、議会に行こう！



傍聴席は市役所4階です。

市議会は、市の予算や施策について話し合い、決定する大切な場所です。ぜひ傍聴にお越しください。

議会傍聴に来れない方は市役所ホームページ内、市議会ページの議会中継、中継録画をご利用下さい。

議会中継への二次元コードはこちら →



中継録画への二次元コードはこちら →



学校の社会科見学やPTA、各種団体等の研修でも傍聴できます。
会議録は市役所・三笠支所・大川出張所・図書館で閲覧できます。

30年度一般会計補正予算

【反対】 竹原信一議員

●生活保護システム改修予算108万円。百万都市でも同額程度である。予算を議会にかける必要から仕事は遅れる。職員はシステムに依存するので道理が分からず目の前の状況に対応できないということになる。阿久根市は人口がどんどん減っていくのでこのシステムからは降りていかなければならない。

放射性廃棄物の持ち込み拒否に関する条例

【反対】 野畑直議員

特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律は「当該概要調査地区等の所在地を管理する都道府県知事及び市町村長の意見を聴き、これを十分に尊重しなければならない」となっている。

委員会では、3名が「国の政策が一番大事」「国の動向を注視し判断すべき」「国が前面に立った

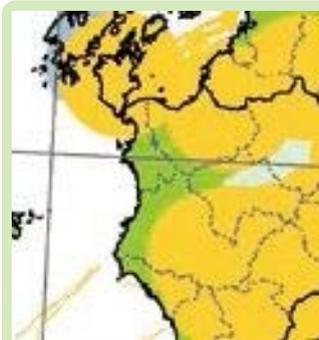
【賛成】 渡辺久治議員

世界中でも地殻の変動が激しい国の一つである我が国は、放射能レベルの半減期が数万年以上もかかる放射性廃棄物を置いておける所など、どこにもない。経済産業省は、放射性廃棄物の地層処分を行う場所を選ぶために、検討材料として「科学的特性マップ」を発表しているが、火山国日本でこのようなマップをつくること自体、ナンセンスである。そのマップにおい

中で国民的な議論を」との考え方で「この条例制定は時期尚早である」と判断し、反対している。賛成の2名は「市長も受け入れないと言っている」、1名は「条例を制定しても意味がないと思う」と発言しての賛成で

あり、「極めて難しい判断を迫られた」と感じる。委員会が出た反対意見と同じように「放射性廃棄物の最終処分については、国が前面に立って取り組むべき課題であり、この条例制定については時期尚早である」と考え反対する。

高レベル放射性廃棄物処分場選定へ公表された科学的特性マップ



凡例
好ましくない特性があると推定される地域 (地下深部の長期安定性等の観点)
好ましくない特性があると推定される地域 (将来の規制可能性の観点)
好ましい特性が確認できる可能性が相対的に高い地域
輸送面でも好ましい地域

てすら、阿久根には好ましくないとされる地域が含まれている。過去に市長から放射性廃棄物の持ち込みを拒否する旨の発言があった。市議会も、この条例を制定し、自治体としての姿勢をはっきりと国に示すべきである。

日本が原発稼働の永久停止を成し遂げたならば、放射性廃棄物をどうするか、本当に向き合わねばならない時期が来ると思う。それまでは、自治体として、国の政策に関わるべきではない。

【賛成】 竹原恵美議員

県内11の市町村では、執行部提案、議員提案、市民の陳情などから同様の条例が制定されてきている。北さつま漁協は平成26年の理事会で当時停止していた川内原発に対して、再稼働反対の意思を表明していた。今もまだ阿久根の産物が原発に関わる情報によって危険にさらされる可能性があるなど放置できない。

昨年、核のごみマップが出され、阿久根市は処理も輸送も適地であり、最も適した地域に分類されている。「核のゴミは受け入れたくない」と市長、議会が考えながら、国からは「適地」と選定された上に何ら自ら反応しないことは、「運営方針の決定」という自治体の役割を果たさずに時間を経過させ、市民の不安を放置するだけである。市議会は市民に対して「安心して住める生活環境を守る意思」を書面で表すことが必要である。

【賛成】 竹原恵美議員

これは県知事のマニフェストである子ども医療費の窓口一時払い完全ゼロから来たもので、今回は非課税世帯の乳幼児の窓口無償化という内容である。非課税世帯における受診控えを減らし乳児が適切な医療を受けるための必要な政策とされている。しかし、利用者のコスト意識の醸成の上に継続できる政策であることから、医療費の変動のデータを取り、適切な利用と医療のサービスマスがなされるよう進めてほしい。

高校までの医療費無償化も含めて利用者側も病院側もモラルハザード(利用者が注意を怠って病気やけがを近づけること、企業が倫理を欠いた運営をすること)にならないよう意識の醸成をお願いする。また、これからは医療機関窓口での判断項目が増えるが、保護者の自尊心を損なわない対応を心がけるように指導をお願いする。

各議員が市政を問う

一般質問

平成30年第2回定例会では、8名の議員が一般質問を行いました。

【質問者】 (質問順)

- ① 渡辺 久治 議員
- ② 岩崎 健二 議員
- ③ 西田 数市 議員
- ④ 牟田 学 議員
- ⑤ 竹原 信一 議員
- ⑥ 山田 勝 議員
- ⑦ 竹原 恵美 議員
- ⑧ 白石 純一 議員

掲載内容については、それぞれの議員が行った一般質問の主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者がまとめ、広報聴聞委員会が編集したものです。

一般質問動画の視聴について

議員写真の下にある二次元コードをスマートフォン等で読み取ると各議員の一般質問をYouTubeで視聴できます。視聴の際はデータ通信料が発生する場合がありますので御了承下さい。

渡辺 久治 議員

寺島旧家活用への
意気込みは

あらゆる手段で目標額達成を



動画視聴

渡辺 「寺島宗則旧家保存活用プロジェクト」、相当な覚悟を持って取り組まなければならないと思うが、市長の意気込みは。

市長 このプロジェクトについては、あらゆる手段を使って宗則の功績の普及活動に努め、目標額の達成に向けて取り組む。情報発信はどのように。



旧家の周辺景観



プロジェクトの完成イメージ図

商工観光課長 いただいた寄附を市のHPに掲載、企業のPRにも活用し、金額はその都度更新する。

渡辺 このプロジェクトは、私達の地域興しへの情熱度が試されていると言っても過言ではない。

いから問題について

渡辺 阿久根市側としては、任意団体の協会人事に指図は許されないが、望むべき姿を、この場で述べることはできる。私は現協会幹部の創設時の功績は理解し高く評価するものであるが、事ここ

に至っては、協会としてはじめをつけてもらいたい。つまり、現協会幹部に引いてもらうことを前提に会員の方々に総会に臨んでもらいたいと考えるが、市長の所見はどうか。

市長 この団体に関する役員の方々の選出については、会員の方々の良識ある判断に基づいて決定してもらえないかというのが私の所見である。

渡辺 本議会、本議場で、私共のこのような論議が、今後の協会運営の健全な運営に資することを願うものである。

岩崎 健二 議員

シルバー人材センター 活用を

事業内容を精査し検討する



動画視聴



岩崎 シルバー人材センターの現状と今後の支援等について聞きたい。
市長 人口減少が進む中、労働力確保は大きな課題であり、働く意欲のある高齢者の雇用、就業環境の整備が必要不可欠であり、高齢者が社会参加することは、社会保障負担の軽減につながる。シルバー人材センターの役割



シルバー人材センター 作業状況

は大きなものと認識している。シルバー人材センター事業への今後の支援・活用策については、事業補助を継続し、委託業務等についても内容を精査しながら費用面も含め判断し、検討していく。

消防団員の待遇改善

岩崎 どの分団も団員の確保に苦慮しているが、

市長 若年層の方々が消防団活動に興味をもって頂けるよう入団を促していくことが重要である。

岩崎 消防団員の処遇改善の考えは。

市長 消防団員はご自身の仕事を持ちながら災害発生の際には地域住民の生命・財産を守る大変重要な役割を担っている。団員の処遇については、さまざまな意見・課題があるが近隣市町との状況を踏まえて対応していく。

岩崎 消防団OBの活用

も一つの方法では。

市長 OB会の活動は、消防団、消防署の活動の支援の位置付けであり、直接活動は想定していない。反射ベストと帽子の支給は今後検討する。

その他の質問

市長の政治姿勢について

西田 数市 議員

特別支援教育の取組 今後は

研修会等 一層の充実を図る



動画視聴



西田 特別支援教育の取組と今後の対応は。

教育長 市教育委員会で研修会等を開催し、特別支援教育の充実を図っている。今後も多くの教

職員が研修等に参加できるように改善を図るとともに二層の充実を図りたい。

西田 近隣市町の特別支援学級との交流に取り組んでいるが、市教委にも協力をいただけないか。

学校教育課長 交流活動の実施主体は学校であるため、校長と協議し、協力できるところは協力していきたい。

障がい者への支援

西田 障がい者の方々の生の声を聞き、障がい者に対する市民への理解や施策に反映してほしいと思うが。

市長 関係団体との市長と語る会やイベント参加等を通じ直接ご意見やご要望を伺う機会を設けている。今後も障がい者福祉施策の充実に努めたい。

有害鳥獣捕獲事業

西田 補助金の不正受給があった当該組織の運営はどのような体制が望ましいと考えるか。

市長 再発防止策や透明性の向上等、必要な措置を講じてほしいと考えるが、市に人事権等の権限はないため、会員の方々の良識ある判断で決定してもらいたいと考える。

西田 代表が変わらない限り組織の透明性は確保できない。会員皆様に役員の刷新を強く要望する。



支援学級 他市との交流



動画視聴



牟田 学 議員

旧国民宿舎跡地 今後の計画は

中長期的な事業構想を目指す

牟田 今後の対応と全施設の完成時期の見込みは。
市長 当初の予定では、新宿泊施設の稼働を国体直前の2020年7月ごろと見込んでいたが、事業者の計画が中長期的な構想のため、この時期での稼働は極めて厳しい。
牟田 市民が利用できる施設にすべきだと思っが、外資系の事業者に決定さ



折多小学校通用門前の道路状況

れた場合、市の考え、要望などが相手に伝わるか。
市長 先方自体も地元の声を拒絶することは決してなく、むしろそういう声を聴きながら計画を進める考えであると思う。

市道の交通規制

牟田 折多小学校裏門に接する市道に交通規制をかけられないか。
市長 警察に確認したが、多くの条件があり規制は厳しいとのことであった。

牟田 規制が厳しければ、市道を廃止し、児童の安全確保を考えられないか。

市長 地域、学校、保護者から廃止の要望が出され、子供たちの安全優先の意味が非常に強ければ、検討の余地は十分ある。

かごしま国体の対応

牟田 2020年かごしま国体は、スポーツ推進課の窓口では対応できないのでは。国体対応の準備室を設置する考えは。
市長 現段階と比べ業務量も増加する見込みであることから、必要な人員確保について庁内での調整を進めていく考えである。

竹原 信一 議員

いから問題の原因は

団体を市は所管していない



動画視聴



市長 通勤手当は平成30年度中、勤務条件等は今後準備を進めたい。
竹原 市長の一言ですぐにできることだ。市長の能力の低さがわかった。

旧国民宿舎について

竹原 阿久根には衛生受信施設がある。旧国民宿舎は国防上、非常に重要な場所だ。
 ホテル業界に営業活動をしたか。

市長 そんなに幅広く多くは回っていない。
竹原 役所仕事は上から目線だ。中国資本と一緒にやっていくのか。
市長 その方向で考えている。
竹原 たいへんな男が市長をしている。危険だ。

入札指名について

竹原 市内事業者を育てるべきだが、事務所と看板だけの市外業者を市内業者と同じ指名に入れているのではないか。
財政課長 個別の契約、指名に関して相手の状況を把握するという形での訪問はしていない。

格差問題について

竹原 協会員は被害者だ。協会の中に加害者がいる。市の職員も処分するべき。
竹原 非正規職員の給与・交通費の見直しが出てきていないのはなぜか。



山田 勝 議員

ガードレール落書き 目に余る

本人に消去要請をしている



動画視聴



に余る落書きをしてある。公共物をこのままにしていいのか。

市長 さび止め塗布の市道14路線19カ所については発見の都度、警察に通報し対応を協議している。

山田 昨年12月28日夜、近くの市道のガードレールに落書きをしてあり、気持ちが悪いと言われ早速確認した。この他にも市道のガードレールに目

山田 6カ月もそのまま、子供がしたら親は叱り、すぐ解決がつく。警察に

届けるなり告発してすぐ解決して欲しい。**都市建設課長** 文書や口頭で要請している。

地方創生の取組

山田 福祉も市民サービスも職員の取組次第だと思う。職員がもっと居住地や出身地に溶け込めば市民の意見を聞いたり、市政に理解してもらおう機会になると思うのだが。

市長 地域のイベントや活動に積極的にかかわるよう指導している。

山田 職員採用について、市外出身者が多いと聞くが。

市長 平成24年度から29年度まで市内出身者45人、市外出身者が31人である。

山田 市内の出身者が受験してくれるように区長会でお願したらどうか。

市長 区長会でお話したことは無いが今後機会があるたびに話をしたい。



落書きがしてあるガードレール

竹原 恵美 議員

有害鳥獣捕獲組織 不正流用は

協会や一社の運営に回されている



動画視聴



竹原 有害鳥獣捕獲に関する組織への調査の結果、不正流用があったか。

市長 不正も含めて協会や一社の運営に回されている。(※)

竹原 組織は長期にわたり不正受給をしており、阿久根市は書類作成に協力してきた。阿久根市は自ら告訴すべきと考える。



不正流用が確認された
いかくら阿久根

※ 協会とは…阿久根市有害鳥獣捕獲協会と協本有害鳥獣捕獲協会

一社とは…一般社団法人いかくら阿久根

中野教育長の方針は

竹原 教育長の阿久根市の教育に対する課題とこれからの方針はいかがか。

教育長 課題として、高学年になるにつれて活発に発言する生徒が少ない、家庭での学習の時間が少ない生徒が比較的多い、授業は生徒に考えさせる時間の確保が少ないことなどが挙げられる。子供たちが主体的に取り組む

授業の展開、意図的・計画的な自宅学習の提供、配慮を必要とする子供たちへの個に応じた指導、支援の充実、自己肯定感の高揚を図る手立ての構築等について指導していきたい。教職員に対しては継続した研修や研究、子供たちや地域への強い想いの育成、配置等に努めていく。



動画視聴



白石 純一 議員

宿舍公募 無効応募者 協定なぜ

やむを得ない。縁ができた

白石 書類審査を満たさぬ応募法人は、無効では。
財政課長 通常失格だがブレゼンに進ませた。
白石 書類未提出で無効の応募者と協定結ぶのか。
市長 応募2者から選定判断つかず、いろいろ判断しHKKR社を進めたい。
白石 自ら設けた手続きに則らないが矛盾ないか。
副市長 想定外で

あり、やむを得ない。

白石 H K R社が提案する周辺一帯の計画づくりは公募にしないのか。
市長 縁ができたH K R社と考えを同じにしたい。
白石 大規模開発の方が市の負担は少ないのか。
財政課長 まだ見えない。
白石 香港本社の会長・社長は来られたか。
市長 本社代表は未訪だ。
白石 応募地元企業育成、地域活性化の点から2者の相乗効果は考えないか。
市長 懸念、不安面があると考えた。

白石 行政手続き踏まず、国会の問題も想起させる。



議員のガードレール落書・張り紙 告訴は

白石 公共物落書きの器物損壊、張り紙の軽犯罪法違反で告訴しないのか。
都市建設課長 警察と相談している。

防災無線デジタル化検証

白石 防災放送が市内を十分カバーできていない。屋外スピーカーが当市より多い自治体の工事実績が当市予算より1億3千万円低い。プロポーザル方式入札も検討必要では。
総務課長 その予定ない。

市が定めた行政手続き(募集要項)を自らやめる選定過程に、市民が納得するだろうか。

使用済みインク・トナーカートリッジを集めて教育費を贈ろう!



市役所1F設置のカートリッジ回収箱



阿久根小学校PTAへ贈呈しました

阿久根市議会有志15名のボランティアグループは、使用済みインク・トナーカートリッジを集めて学校に贈る活動を始めました。

インクカートリッジは1つで5円相当、トナーカートリッジは50円相当の学校機材購入費になります。市役所1階相談窓口に回収箱を設置しました。

捨てればゴミ、生かせば教育費に生まれ変わります。

皆様のご協力をお願いします。

主な議会・委員会活動（5月～7月）

5月

- 8日 議会運営委員会
- 11日 産業厚生委員会
- 23日 総務文教委員会

7月

- 12日 常任委員長研修会
- 17日 広報広聴委員会
- 30日 広報広聴委員会
- 31日～8月1日 総務文教委員会所管事務調査（福岡県八女市・熊本県多良木町）

6月

- 1日 議員全員協議会
- 8日 議会運営委員会
- 13日 議員全員協議会
- 14日 本会議（一般質問）
- 15日 予算委員会
- 22日 議会運営委員会
- 28日 高浜町議会視察研修受け入れ



常任委員長研修会では本県の子育て・高齢者支援施策、議会改革と住民福祉についての講演を受けました



福井県高浜町議会から原発に関連した視察研修を受け入れました

9月定例会のお知らせ

- 7日 本会議（提案説明・質疑）
- 12日 本会議（一般質問）
- 13日 本会議（一般質問）
- 25日 本会議（審査報告・表決）

※日程については、変更になる場合があります。



あなたの写真で、市議会だより表紙を

次号11月16日発行予定の表紙用写真を募集します。秋の風景、イベント等を題材に、阿久根らしい写真で動きや季節感のあるものをお寄せください。

簡単な写真の説明、氏名、連絡先を記入の上、お一人様3点まで左記の住所へ郵送またはメールで広報広聴委員会宛てご応募ください。

採用の可否は委員会で判断させていただきます。応募作品の返却希望の場合はお申し出ください。

なお、不明な点は左記へご連絡ください。

締切り：平成30年10月12日(金)



編集後記

鹿児島磯庭園の反射炉跡が世界遺産に登録されました。阿久根市脇本に生まれた寺島宗則がオランダの書物のみを手がかりに完成させた奇跡です。晩年の寺島宗則は国民

のたいへんな窮乏をよそに極端な西洋化と贅沢を極める明治政府を厳しく批判しました。彼は当時ありがちな西洋かぶれの知識人とは異なりました。民を富ませるために通貨を減らさず役人を減らし、役人の給料を下げて無駄な建築を止めるよう必死に訴えました。宗則の哲学は伊藤博文に拒否されましたが私たちは宗則にこそ学ぶべきです。
(委員 竹原 信一)

発行責任者	議長	木下 孝行
広報広聴委員会	委員長	白石 純一
	副委員長	渡辺 久治
	委員	西田 数市
		竹原 信一
		飯屋園 一徳
		濱崎 國治